

AMBASSADE  
DE FRANCE  
AU JAPON  
*Liberté  
Égalité  
Fraternité*



軽井沢朗読館



Bell & Ross



# 佐賀から 東京へ。



AILES  
ROUGES

# 赤い翼

## 1936 PARIS/TOKYO



## 未完の夢、世紀を超えて実現へ

1936年11月、フランスの飛行士アンドレ・ジャピーによる  
パリー東京100時間飛行への挑戦は、  
達成目前の佐賀県・脊振山で悪天候に阻まれ、未完に終わりました。  
そして、今新たな挑戦が進行中です。同型機を復元して佐賀から東京まで飛ばし、  
ジャピーが果たせなかった夢を完結させる「赤い翼」プロジェクトです。  
夢の実現に向けて、皆さまの篤いご支援をお願いします！

- 主催 「赤い翼：パリー東京」実行委員会
- 主催 コードロン・シムーン復元協会
- 後援 軽井沢朗読館
- 後援 在日フランス大使館
- 後援 フランス航空クラブ
- 助成 笹川日仏財団
- 助成 ラ・フランス共済組合財団
- 協賛 Bell & Ross
- 協賛 (株)高島屋



協賛・協力企業を募集中です。詳しくは、「赤い翼：パリー東京」プロジェクトのHP、<https://www.redwing2024.org>  
又は、[redwing19362024@gmail.com](mailto:redwing19362024@gmail.com) までお問い合わせください。



## 1936年、アンドレ・ジャビーは 当時の新鋭機コードロン・シムーンで 東京へ飛びたった。



① アンドレ・ジャビー (1904-1974)  
ポークール市出身。日本への飛行時は32才。



② アンドレ・ジャビーとコードロン・シムーン機



③ ジャビー機の翼の一部を持つステファン・ランテール (コードロン・シムーン復元協会会長: 左) とニコラ・ジャビー。



④ 2016年、神崎市との友好協定締結20周年 (遭難80周年) 記念に来日したポークール市 べラン市長一行 (元協会会長: 左) とニコラ・ジャビー。

## 「神風」号は東京-パリ経由 ロンドン飛行で世界記録達成。 サン=テグジュペリは…



⑤ 朝日新聞社機「神風」号: 1937 (昭和12) 年4月に東京・ロンドン間の亜欧連絡飛行を実施。総飛行距離約1万5千kmを約94時間で翔破し、国際航空連盟 (FAI) の公認記録を達成しました。



⑥ アンドレ・ジャビー (右) は「神風」号の飯沼 (左から2人目)・塚越 (左) 両飛行士に航路の示唆を与えています。



⑦ アンドレ・ジャビーの機体と同型の機体。サン=テグジュペリはコードロン・シムーンに乗って、パリからサイゴンに行く途中砂漠に墜落、この経験から『星の王子さま』が生まれました。

## ジャビーの遭難と朝日の「神風」号

1936 (昭和11) 年11月、フランスの飛行士アンドレ・ジャビーはコードロン・シムーン機でパリから東京への100時間飛行レースに臨みました。しかし、途中佐賀県の脊振山 (せぶりさん) で遭難し重傷を負い、地元民の手厚い看病によって回復します。帰途東京によって、朝日新聞社が挙行しようとしていた、東京・ロンドン間の亜欧連絡飛行について、飯沼正明・塚越賢爾両飛行士にアドバイスを授けました。1937 (昭和12) 年4月、パリを経由してロンドンまでの飛行は成功し、日本の国産機がヨーロッパまで飛び、世界記録を達成したのです。

## 赤い翼：パリー東京 プロジェクト

コードロン・シムーン機は現在1機がフランスの博物館に展示されていますが、1972年にモロッコで発見されたもう1機の機体を飛行可能状態に復元する作業が、アンドレ・ジャビーの子孫にあたるニコラ・ジャビー氏を中心に進められています。赤い翼プロジェクトはアンドレ・ジャビーが成功しなかった佐賀から東京までの飛行を、ジャビー機遭難から90年になる2026年に実現する計画です。このフランス側の意気に応じて立ち上げたのが、赤い翼：パリー東京プロジェクトです。東京大学名誉教授鈴木真二氏を会長、元駐仏日本大使木寺昌人氏を最高顧問、そして古川康元佐賀県知事など日仏の要人を実行委員に迎え、着実に準備を進めています。

## 佐賀から東京へ。



⑧ 現在復元中のコードロン・シムーン機。この飛行機が日本にやってくる。



⑨ 復元機に興味深く見る子供たち。